

ギターと朗読で聴く

宮沢賢治

貝の火



朗読

吉田 聖恵 Shie Yoshida

多治見市出身。ナレーターである母に幼少期から指導を受けて育つ。高校・大学生当時、コミュニティFMで日本近代詩人の紹介番組（全52回）を企画制作。愛知大学西洋哲学専攻卒。現在はFMららでアナウンスやナレーションを担当。個人活動として、和楽器やダンサーとの共演など、朗読の可能性を拓き取り組みをはじめている。

ギター

トム 兼松 Tom Kanematsu

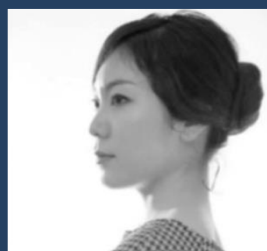
山水に恵まれた岐阜より優しい音楽発信中！坂祝町在住。ボストン パークリー音楽大学卒。ロンカーターほか、有名ミュージシャンのレコーディングやコンサートに多数参加。ソロ、ツアー等、国内外で精力的に活動を続けている。元ラジオパーソナリティとしてのファンも多い。2015年ソロアルバム「スペイン」発表。「ハウス」「オールデイズ」音楽プロデューサー。



陶磁器

高橋 生華 Seika Takahashi

多治見市陶磁器意匠研究所卒。国際陶磁器フェスティバル美濃 審査員特別賞。銀座三越ギャラリーほか個展。韓国、アメリカでも作品を展示。多治見市在住。



「ホモイはそれを胸にあててすぐねむってしまいました。

その晩の夢の奇麗なことは、黄や緑の火が空で燃えたり、野原が一面黄金の草に変わったり、
たくさんの小さな風車が蜂のようにかすかにうなづいて空中を飛んであるいたり…」

ひばりの子を助けた子鬼ホモイは、そのお礼に「貝の火」という美しい宝物を手に入れました。しかし、それによって揺れ動くホモイの心が物語の運命を変えていきます。もどかしい余韻を残すこの物語は、信仰者や科学者の顔をあわせもつ宮沢賢治独特の複雑な色彩を帯びています。

また、賢治は自作の童話を家族や生徒に読んで聞か

せることがありました。「貝の火」にもそうした逸話が残っています。

優しく語りかける賢治童話に、朗読で親しんでみませんか。あわせて、賢治がそうであったように、自然との交感から表現を生み出している二人のアーティストが、ギター演奏と陶磁器作品でみなさまを豊かなイメージの世界へと誘います。

2016年10月30日(日) 開演 19:30 開場 19:00

Jazz Live MIZ 可児市中恵土 1668-1 <http://debbyart.com> (駐車場案内図あります)
※駐車場の台数に限りがあります。乗り合せでのご来店にご協力ください。

Live Charge 1,500円 + 1品以上オーダーをお願いします (Drink, Food あり)

【ご予約先】0574-28-4000 (兼松企画) 電話受付 13:00~17:00 (火~金)

【メール予約】pomo4021@gmail.com 氏名、人数、連絡先を明記してください